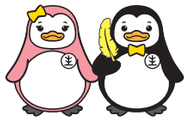
犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

第74回 社会を明るくする運動

7月は“社会を明るくする運動”強調月間・再犯防止啓発月間です

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、
犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの
更生について理解を深め、
それぞれの立場で力を合わせ、
犯罪や非行のない
安全で安心な地域社会を
築くための全国的な運動です。



更生ペンギンの サラちゃん　更生ペンギンの ホゴちゃん

“社会を明るくする運動”に参加しよう!

▶ “社会を明るくする運動”についてもっと知りたい方は

社会を明るくする運動ウェブサイト

▶ 更生保護についてもっと知りたい方は

法務省　更生保護　検索

▶ お問い合わせはお近くの保護観察所まで

保護観察所　検索

▶ 更生保護ボランティアについては

更生保護ネットワーク　検索

法務省保護局 公式X アカウント

法務省 公式YouTube チャンネル

法務省保護局 公式Instagram アカウント

誰だって、すぐには本音を話せない。
誰だって、すぐには希望を抱けない。
誰だって、すぐには変わることができない。

でも、たとえ時間がかかっても、
たとえ過去にあやまちがあっても、
誰かと一緒なら希望はある。

声をかけ、背中を押し、
あきらめずに寄り添い続ける。
信じて待つ人の存在は、
立ち直りへの大きな力になるだろう。

私たちの「待つ時間」は、
きっと誰かの「変わっていく時間」。

犯罪や非行からの立ち直りのためには、
更生に向けて努力する人の未来を信じて、
その「変わっていく時間」にともに
寄り添う人たちの存在が必要です。

〝社会を明るくする運動〟は、
どなたでも参加することができる
立ち直りを支える活動です。

立ち直りに向け「変わっていく時間」は、
私たちの身近なところに流れています。
一人ひとりが考え、理解し、行動することで、
立ち直り支援の輪が広がっていきます。

さあ、皆さんも一緒に考えてみませんか。
人と人とがゆるやかにつながり、支え合う、
安全で安心な明るい社会を目指して。

立ち直りを支援する方法は様々です

理解を深め見守る

自らの過去と向き合い、罪を償って立ち直ろうとしている人たちへの御理解や更生保護ボランティアの方々の活動への御協力を、よろしくお願いします。

活動を応援する

立ち直り応援基金は、犯罪や非行をした人の立ち直りに賛同してくださる方々の思いと、更生保護の活動とを結び、新たな被害者も加害者も生まない、安全・安心な地域社会を築くことを目的とした基金です。寄付金は、全国の立ち直り支援活動に大切に使われます。

立ち直れる。その思いをツナグ。
立ち直り応援基金

SNSをフォロー・拡散

法務省保護局のホームページやSNS等で、立ち直り支援に関する様々な発信を行っています。裏面で公式SNSを御紹介しておりますので、ぜひチェックしてみてください。

イベントに参加する

7月の強調月間を中心に、全国各地で〝社会を明るくする運動〟の様々なイベントや広報活動が行われています。お住まいの地域の活動に、ぜひ御参加ください。

更生保護ボランティアとして参加する

立ち直りを一番近くで見守る ▼保護司

保護司は、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支えるボランティアです。地域の事情などをよく理解し、保護観察官と協働して、保護観察を受けている人に面接を通じた助言や指導を行い、受刑者等が社会復帰する環境への働き掛けなども行っています。全国に約4万7000人います。

「就労」と「見守り」の両方を担う ▼協力雇用主

犯罪や非行をした人の立ち直りには、働くことが大変重要です。協力雇用主は、犯罪や非行をした人の自立や社会復帰に協力することを目的として、彼らを雇用しようとする事業主です。全国に約2万5000事業者がいます。

社会復帰する人の居場所をつくる ▼更生保護施設

更生保護施設は、刑務所などを出た後、寝る場所がない人たちに宿泊場所や食事を提供し、自立に向けた支援等を行う民間の施設です。全国に約100施設あります。

若い人の視点で立ち直り支援に参加 ▼BBS会

様々な問題を抱える少年たちと、兄や姉のように身近な立場で接することで、少年たちの成長を助ける青年ボランティアです。全国に約4300人います。

地域のことをほっとけない ▼更生保護女性会

更生保護女性会は、地域の犯罪予防活動や更生支援を行う女性のボランティアです。非行問題を考えるミニ集会のほか、子育て支援活動など、多様な活動をしています。全国に約13万人います。

ほかにも、農福事業者、
自助グループなど、
立ち直り支援の担い手は様々です。
そして、食育、スポーツ、
アウトドアだっていい。
立ち直り支援は、
多様な支え合いを必要としています。